

令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	3	履修学年・クラス	2ABC
担当者		使用教材	COMET English Communication Ⅱ (数研出版)				
学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、コミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
	<p>○外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を4技能を用いた実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。</p> <p>○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考えなどの概要や要点、話の展開や詳細、相手の意図などの必要な情報を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的・自律的に多様な語句や文を用いて、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えようとする態度を養う。</p>						
学習方法	○文型や文法の知識を応用し、辞書やICT機器を使って正確な読解力を身につける練習を行う。						
	<p>○英語の発音やイントネーション・区切りに注意して、滑らかに英文が読めるように音読練習をする。</p> <p>○幅広い話題について説明したり、自分の考えを相手に伝えるための語彙力・表現力をつける。</p> <p>○単語テストやパフォーマンステストを定期的に行い、フィードバックを図る。</p>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	英語の学習を通じて、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化なども理解している。				
	思	思考・判断・表現	○日常的・社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ○日常的・社会的な話題について、英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に表現し、伝え合うことができる。				
	態	主体的に取り組む態度・情意	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。				
	※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。						

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	L1:Places Worth Visiting	ダイキとエラが互いが訪れた場所(屋久島とカッパドキア)についてメールで紹介する。	○	○	○	態: 授業を通して学んだことや、日常生活の中で学んだり経験したことを積極的に活用して話している。 思: トピックについて、相手に理解できる英語を使って、自分の考えを伝え、質問に答えることができる。 英文を読んで、特に重要な事実を捉えることを通じ、パラグラフの要旨を理解することができる。	・考査 ・音読テスト ・ライティングテスト ・スピーキングテスト ・リスニングテスト ・単語テスト ・授業観察
		wantなど+(人)+to-不定詞		○			
	L2:Iwago Mitsuaki: Animal Photographer	動物写真家 岩合光昭さんが、撮影において重要だと気づいたことや撮影のコツを語る。	○	○	○	知: L1:ダイキとエラが訪れた屋久島やカッパドキアの体験について理解できる。 L2:岩合さんが写真の撮影において、重要だと思っていることや撮影のコツを理解できる。	
		疑問詞+to-不定詞		○			
前期末	L3:The Haka	ニュージーランドからの留学生マイアが、マオリ族の伝統舞踊「ハカ」について発表する。	○	○	○	態: 授業を通して学んだことや、日常生活の中で学んだり経験したことを積極的に活用して話している。 思: トピックについて、相手に理解できる英語を使って、自分の考えを伝え、質問に答えることができる。 英文を読んで、特に重要な事実を捉えることを通じ、パラグラフの要旨を理解することができる。	・考査 ・音読テスト ・ライティングテスト ・スピーキングテスト ・リスニングテスト ・単語テスト ・授業観察
		分詞		○			
	L4:Digital Detox	ハルカとダイキのデジタル機器との関わり方に関する記事を読み、意見を交換する。	○	○	○	知: L3:マオリ族がどのような目的でハカを踊り、ニュージーランドの人々にとってハカがどのようなものかを理解できる。 L4:デジタル機器の使い過ぎから、ハルカとダイキが考えるデジタルデトックスについて理解できる。	
		if節・疑問詞節		○			
後期中間	L5:Goal Setting	効果的な目標設定の方法について知る。	○	○	○	態: 授業を通して学んだことや、日常生活の中で学んだり経験したことを積極的に活用して話している。 思: トピックについて、相手に理解できる英語を使って、自分の考えを伝え、質問に答えることができる。 英文を読んで、特に重要な事実を捉えることを通じ、パラグラフの要旨を理解することができる。	・考査 ・音読テスト ・ライティングテスト ・スピーキングテスト ・リスニングテスト ・単語テスト ・授業観察
		seem		○			
	L6:The High School Hair Salon	三重県のある高校には、美容室を運営する部活動がある。部員たちが活動内容や思いについて語る。	○	○	○	知: L5:大谷選手は目標を達成する際にどのようなことをしたか理解できる。目標設定において重要なことは何か理解できる。 L6:ケンタがどのような思いで入部したのか、ユイたちが商品開発において苦労したことは何か、ミサキは美容室での活動を通じてどんなことに気づいたか理解できる。	
		助動詞+have+過去分詞		○			
後期末	L7:You Can Make a Difference	バリ島で暮らすメラティとイザベルの姉妹は、島が抱える深刻な問題を知る。彼女たちはある活動を始めた。	○	○	○	態: 授業を通して学んだことや、日常生活の中で学んだり経験したことを積極的に活用して話している。 思: トピックについて、相手に理解できる英語を使って、自分の考えを伝え、質問に答えることができる。 英文を読んで、特に重要な事実を捉えることを通じ、パラグラフの要旨を理解することができる。	・考査 ・音読テスト ・ライティングテスト ・スピーキングテスト ・リスニングテスト ・単語テスト ・授業観察
		過去完了形		○			
	L8:Nudge	命令や強制ではなく、小さな工夫で人の行動に影響を与える「ナッジ」について知る。	○	○	○	知: L7:姉妹のどのような活動が、バリ政府からの援助につながったか理解できる。 L8:ナッジとその具体例について理解し、自分の身の回りの問題の解決策や工夫について考えることができる。	
		関係代名詞what		○			